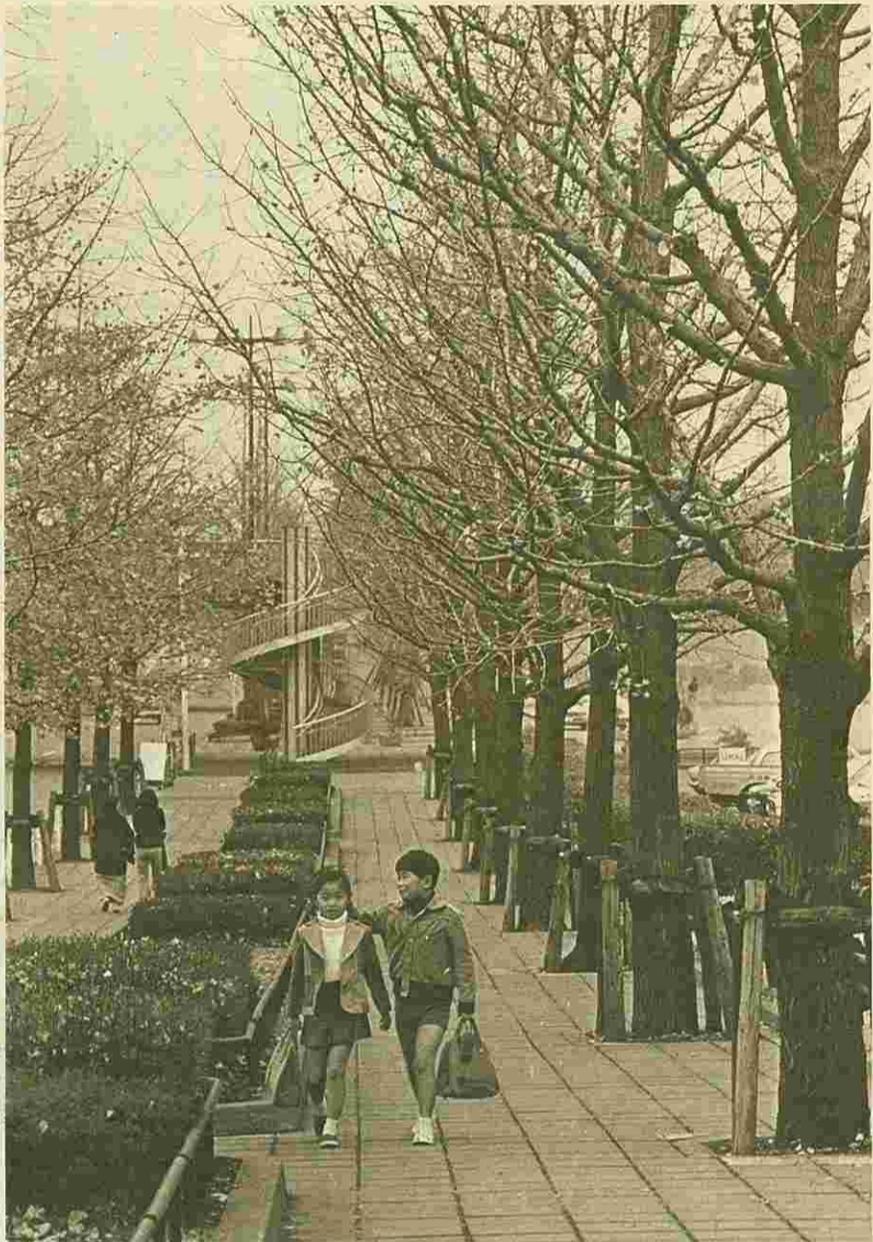


みどりのスペースを広げよ

佐藤 昌



緑が都市の生活にとって、非常に大切なものである... 緑の効用については何ら関心がなく、緑の多い庭を持つことは贅沢で勿体ないと思っていたのである。

を創造しようとして、非常な努力が払われている... 緑の回復は今からでも遅くないと思う一人である。

園の境内などを含めた、緑が生育する場所すべてをいうのである... それでは民有の緑をどうして守るか？人口が増えれば当然緑のスペースは減るのであり、増しただけ住居が高層になればスペースは残る、というのが一つの方法である。



さとう・あきら
社団法人日本公園緑地協会副会長/元東京農業大学教授/造園学

自然を残すためにも、これからの歩道は、花壇のあるゆったりとしたものがほしい。写真みどり散歩道→駒沢公園付近で。

第四回定例会 49年 11/11 ↓ 11/29
四十八年度決算・第四次補正予算など十六件を可決

第四回定例会は、11月11日に開会、会期を29日までの十九日間と定めて開催された。議案の内訳は、四十八年度各会計決算の認定をはじめ、補正予算二件、条例改正四件、契約一件、区道認定五件、それに人事案件一件である。これらは、すべて29日に可決した。そのほか、12日には議員提案の意見書二件を可決。また、報告十件も承認した。請願・陳情は、新規付託分四件を含む二十四件を議決。新たに付託したものは二十九件で、継続分は九十三件となった。

●一般会計第四次補正予算(歳出)
補正追加額は、三五億〇七七六万九千九百円で、これに予算総額は、四二億六四八八万五千円となった。おもな歳出は、小中学校校舎増改築・校地買収費約十四億二千万円、職員給与増改定・増員費約八億八千万円、生活保護関係費約二億二千万円など。ほかに、私立保育園の零歳児保育助成、野菜の安売り経費も盛り込まれた。

●昭和三十九年度各会計歳入歳出決算
記事は二ページに別掲。
●新設に伴う条例改正 四件(賛成全員)
○代田区民センター
○代田児童館
○代田図書館 (新代田駅前)
代田六丁目34-13

●昭和三十九年度各会計歳入歳出決算
記事は二ページに別掲。
●昭和三十九年度各会計歳入歳出決算
記事は二ページに別掲。

請願と陳情
●環境保全に関する請願
(区立南山北保育園付近)
○老人の民営バス及び電車の無料利用に関する陳情
○世田谷区の精神衛生対策の充実についての請願
(三軒茶屋地区)

48年度決算審議から 成果が問われた住みよい町づくり

第四回定例会で、昭和四十八年度各会計決算が区長から提出された。区議会では、11月11日の本会議で決算特別委員会を設け、二十七名の構成メンバーを選任。七日間におよぶ審議を重ね、29日の本会議で賛成多数で認定した。

中学校給食費会計 歳入 二億〇七四三万〇九三三円 歳出 二億〇五六六万四二四五円 各会計の差額一七億五八〇〇万三六五五円は翌年度へ繰り越しされる。一般会計で四十九年度予算で使途が決まっている経費一〇億三三五七九二八八円を除いた六億三二六五万六三〇一円と、国保会計九〇八二万七三九円、中学校給食費会計一七六万六八七円の合計七億二四二四万五七二七円が純粋繰越金、つまり黒字額である。

理事者は、提案にあたって決算の成果を次のように説明した。急変する社会情勢の中で、健全財政を堅持し、「人間性豊かな生活環境の整備」を基本姿勢とした。歳入が増えたのは、都区財政調整率のアップ、福祉事業の都支出金が増えたこと、物騰による再調整を行なったためである。繰越事業は前年より

減ったが、日照などの問題が多く、今後も減少に努力していく。また、区民の要望を基に作成した「世田谷区実施計画」の三本の柱を中心に行行政執行したことを強調した。委員会では、この三本柱がいかんとして実行されたかをめぐり、各委員が熱心に討論した。

快適で調和のとれた町の建設

はたして住みよい町になったか。質問に対し区側は、下水道の復旧工事で住民に迷惑をかけたが、できるだけ本舗装で復旧を行い、失われていく緑の保存には空地の確保と風致地区の保護、防災面からは密集地を再開発してバランスのとれた町づくりを、

明るく文化的な教育環境の充実

まず、教育の理念と教職員の指導のあり方が問われた。これに対し理事者は、教育は「人」である、教師は多様な子供に対応できる能力が必要だ、そのため、研修に力を入れ、人格向上に努めていると答えた。本道校舎改築見込みと今後の整備計画、設備の再点検もたされた。これには、改築は五十年で完了し、それ以後は要望の多い環境の整備、特殊・訪問学級を充実、

健康で安全な暮らしの実現

老人・保育園・公害関係に質疑が集中した。区は、寝たきり老人に対し入浴・理髪サービスを来年度から実施したいと表明。



決算に対する 各派の意見

公共施設の建設促進を 自民党一賛成 社会・経済情勢の悪化に対し、区民生活緊急援護の弱者対策、公共工事遂行に特別措置と、財政困難にもかかわらず適切な対策をたてたことは賞賛できる。

環境を破壊する区の施策 社会党一反対 交通公害と排気ガスで区民は苦しんでいる。にもかかわらず、住民の反対を無視した道路建設を強行したのは非常に遺憾だ。

- 「小公園(児童遊園地)」設置促進に関する請願(上北沢五丁目地域)
「浸水箇所改善」に関する請願(下馬三丁目地域)
「失業対策事業賃金の引上げ、年末手当の支給等」に関する請願
「失対越年手当支給等」に関する請願
「失対事業年末手当支給等」に関する請願
「通学区域変更」に関する請願(松沢小・上北沢小・八幡山小区域)
「校舎の増改築等」に関する請願(烏山北小)
「教育環境整備」に関する請願(用賀中)
「区立小中学校講師に対する研究助成金支給」に関する請願
「中央高速道路公害防止」に関する請願
「中央高速道路公害」に関する請願(北馬山一、二丁目地域)
「上野毛通り夜間交通規制」に関する請願(環八目黒通り)
「黒通り」
「新規付託分二十九件」
「私立幼稚園保護者への保育料補助金増額要望」に関する請願
「区長選挙等」に関する請願(選挙公報発行等の条例制定)に関する請願
「スモン患者に対する福祉手当支給」に関する請願(成城九丁目二八番)
「排水溝改修、新設」に関する請願(新町一丁目八番七号付近)
「児童遊園地の設置」に関する請願(田園都市線等々力駅付近)
「児童遊園地の設置」に関する請願(田園都市線等々力駅付近)
「北朝鮮に在住する日本人妻里帰り実現」に関する請願
「老人用浴室設置」に関する請願(仮称茗荷谷区民センター一内)
「心身障害児(者)福祉手当の支給範囲拡大」に関する請願
「心身障害児(者)のための福祉作業所設置」に関する請願
「適応指導センター」新設に関する請願
「学童保育クラブ設置」に関する請願(山野小区域)
「保育園建設」に関する請願(松原五丁目地域)
「児童遊園地新設」に関する請願(後三丁目一九番二号)
「松原マンション建設反対」に関する請願(上野毛三丁目二五番一〇号)
「児童遊園地設置」に関する請願(等々力駅付近)
「道路舗装」に関する請願(給田五丁目八七番付近)
「昭和女子大学女子学生寮建設」に関する請願(弦巻五丁目一七番一七号)
「漏水問題解決」に関する請願(尾山台三丁目三三番四番等々力五丁目一五番付近)
「浸水問題解決」に関する請願(奥沢三、四丁目銀座通り商店街)
「児童遊園地設置」に関する請願(奥沢二丁目五丁目付近)
「奥沢駅前広場の改修」に関する請願
「通学区域変更」に関する請願(山崎中通学区域)
「学校警備員の身分及び待遇」に関する請願
「一方通行を守る」に関する請願(成成学園前通り)
「公営自転車置き場設置」に関する請願(経堂駅前)

調査は寝たきりと一人暮らしだけの調査では不十分と指摘。健康な老人が生きがいを持つ新しい対策も必要だとの意見もあった。保育園問題では、進まない園の建設と保育の慢性的不足が大きな課題だと理事者は説明した。自動車公害がひどい当区は、積極的に大気汚染調査を行なっている。このデータを関係機関に送り、区民の健康に十分配慮して今後も努力していく。公害への取組み姿勢をこのように述べた。

健全財政を堅持した黒字決算というが、民間資金を使った帳尻合わせだ。石油危機に始まり、大企業をつくった物不足と物騰に、区は十分な対策もせず、経費節約で福祉行政や学校・保育園などの必要経費にしわ寄せをした。一方、使用料の値上げ、区長の給与などは、二三区の最高にしている。自動車排ガス51年規制や用地地域の地盤沈下でも、「時期をみる」因果関係が不明だなどと、大企業にキチンとものがいえない。このこ

とは、区長が国の政策の下請け、天下り総合計画にしがみついているからだ。このように区民の生活や環境を守れなかった決算は認められない。 トラブル解消に調整機関を 公明党一賛成 経済的に多難な年だとはいえ、事業費の繰越しが多い。これからの公共施設建設は、日照問題、プライバシーなど生活環境の問題で、地元住民との交渉がさらに難しくなる。そこで、多様な区民の要求を円満に解決し、当区の総合計画をスムーズに遂行するため、区議・区理事者を含めた各界知識人で構成する調整機関をつくれ。 来年度は、大幅事務移管で区の事業が拡大する。円滑・適正に執行できる自主財源確保に、区は態度を明確にして、強く都に交渉せよ。 そのほか、教育・福祉・土木関係など、区民生活向上の施策を要望し、これらのすみやかな実行を望む。 教育施設の多角的利用を 民社党一賛成 異常な物価と石油ショックの中で、健全財政を堅持した努力は評価する。 来年度は、区長公選、事務事業の移管で区民の要望は高くなる。区も幅広い施策と質の向上をはからなければならぬ。学校施設のあり方を総合的に再検討し、社会教育の面から大いに活用するよう考える時期にきている。幼児教育もまだ不十分で、公私立の格差は大きい。そのうえ施設が少なく幼稚園入園が出る始末だ。 そのほか重要な問題に、公害地域の指定、下水道工事、中小企業対策、心身障害者援護、老人問題、緑化運動などがある。四十九年度以降さらに充実した施策を期待する。

区民不在の黒字決算 共産党一反対 健全財政を堅持した黒字決算というが、民間資金を使った帳尻合わせだ。石油危機に始まり、大企業をつくった物不足と物騰に、区は十分な対策もせず、経費節約で福祉行政や学校・保育園などの必要経費にしわ寄せをした。一方、使用料の値上げ、区長の給与などは、二三区の最高にしている。自動車排ガス51年規制や用地地域の地盤沈下でも、「時期をみる」因果関係が不明だなどと、大企業にキチンとものがいえない。このこ

計画とおりの施設整備を 無所属一賛成 成果は一応認めるが、本道校舎改築計画終了の四十九年度で、未改築校を出した。都の財源保証のないまま、五十年で繰延べは納得できない。物騰、物不足の中で努力した弱者対策は認めるが、福祉・教育の面でまだ十分といえない。これらの問題点は四十九年度ですべて解決すべく努力せよ。

財源・職員確保に全力をあげよ

都からの事務事業移管に伴い、それを行うための財源・職員の完全確保が強く望まれる。当区が他区に先がけ、この点についていち早く研究・発表したことには敬意を表す。なお、納付金制度のあり方など抜本的にメスを入れる必要がある。それを行う二十三区共同の研究機関をつくれ。また、都市計画事業を率先して行えるよう、都市計画税を区に還元させよ。職員は適正な定数を確保し、福利の改善もはかるべきだ。

代表質問

一般質問

「区長公選」という区政の転機を迎え、予算編成時期でもあり、しっかりと土台のすえた区の基本施策を打ち出すときだ。区が行うべき福祉具体策を示せ(民社)。

道の下水道工事費は全額公費とすべきだ

区長・助役 広報部門は強化する。施設によつては委託方式を考へる。建築上の問題もあり全額公費負担はもう少し研究したい。質問 都の中期計画に区の事業が入っているのはおかし。区は相談を受けたのか。区長 相談は受けていない。作成時期のズレもあり悪意はないと思う。

莫大な保健所事業費を確保できるか

質問 地方財政の危機が叫ばれている中で、政府自民党は公共部門を無視し、利潤追求の企業づくりに力を入れている。区長は、区民とともに先頭に立って国へ財源を要請せよ。現在の都区間の財政調整制度は廃止し、抜本的な財源確保の方法を検討すべきだ。とくに、保健所事業が移管されると莫大な財源が必要だ。福祉事業などの事務事業にシワ寄せが出てくるのが心配される。これらをどう考えているか。

苦勞している。公共という立場から話し合いで解決するほかない。

質問 議会で約束した結果や経過を、おそくとも一年後には報告できないか(社会)。

老人クラブを増やす新施策を

質問 区内に住む七万人の老人のために、老人クラブを増やすよう努力せよ。また、助成も強化し、民間施設を利用するなど新しい対策を考へよ(公明)。

質問 区内に住む七万人の老人のために、老人クラブを増やすよう努力せよ。また、助成も強化し、民間施設を利用するなど新しい対策を考へよ(公明)。

織づく。いろいろな検討するなど重要視している。

質問 長期展望を持って、住民の意見を汲み入れた福祉重点施策を打ち立てよ。区長 総合計画を基本に、流動的に計画を再検討していく。区民の考えより一歩先んじた施策を講じることが行政側の責任だ。

身近な福祉施設を数多くつくれ

質問 国の総需要抑制策が区の施設建設を大幅にダウンさせている。とくに区民要望が強い保育園建設は、二カ所も削減してしまった。これは、総合計画が破たんしてきたことだ。発想を改め、住民の身近かなところに、老人施設などを数多くつくる新計画を打ち出せ。

現在の利用している民間施設に助成を強化するよう努力している。

質問 奥沢児童館は、遊ぶひろばもなく不備な面が多い。児童保育クラブも不適当なため、利用者は極端に少ない。ほかに遊び場のあるものをつくれぬか(社会)。

厚生部長 遊び場の無い箇所はスペースを大きくとるなど努力はしている。

質問 「生活防衛条例」を検討したか。出張所再編成の審議会をつくと約束したが、どうなっているのか。また、結婚記念に苗木を贈呈する提案のアンケートを実施したか(社会)。

質問 「生活防衛条例」を検討したか。出張所再編成の審議会をつくと約束したが、どうなっているのか。また、結婚記念に苗木を贈呈する提案のアンケートを実施したか(社会)。



「少しくらい遅くても…」退園時刻になると、たくさんの田親が迎えにくる。写真=深沢の私立幼稚園で。

区長・企画部長 若干々としたのは現状ではやむをえない。

質問 保育園建設計画を示せ。産休あけ保育について検討を行なったか。

厚生部長 二園の建設が遅れているが、年度内着工に努力する。

質問 区の全域を「公害健康被害補償法」適用の公害救済地域に指定させよ。

環境部長 当区も指定される見通しだ。

質問 区の全域を「公害健康被害補償法」適用の公害救済地域に指定させよ。

質問 区のアンケートでは、スポーツなどグループで遊べる児童遊園を望む声が多い。子供たちの希望にそよう改善すべきだ。また、遊び場の管理を徹底して危険のないよう工夫せよ(社会)。

質問 区のアンケートでは、スポーツなどグループで遊べる児童遊園を望む声が多い。子供たちの希望にそよう改善すべきだ。また、遊び場の管理を徹底して危険のないよう工夫せよ(社会)。

公共施設の建設を優先させよ

質問 最近一部住民の反対で、公共施設の建設に支障をきたしているケースが多い。区は何らかの基準を設けて対処すべきだ。建築審査権を区に移せないか。

区長・助役 できるだけ話し合いで解決したい。

質問 老人の職業を紹介する「地区事業団」を設置せよ。家族介護手当制度など、ねたきり・一人暮らし老人の新対策を考へよ。

区長・福祉部長 生きがいを持たせる施策を行う。

質問 野菜的契約栽培、流通センターをつくるなど産直の新方策を打ち出せ。また、区民センターなどでも野菜即売会を開け。

質問 東急バス終車後、その定期券で世田谷線を利用できるように働きかけよ(共産)。

質問 東急バス終車後、その定期券で世田谷線を利用できるように働きかけよ(共産)。

設幼稚園の学級増もする。

質問 事業を単に引継ぎだけでなく、住民要望である福祉行政を見直し、それをどう生かすかがポイントだ。その点で、昨年の身障者実態調査は不十分だ。もっと突込んだ調査をすべきだ。福祉作業所建設も充実させ、身障者も民営バス利用を無料化させよ。区独自では実施できないか。

区長 福祉行政の発想転換をする時機だ。

質問 区民の声を聞き取る努力も考へよ。区で直接できない。委託方式を考へている。老人会館を拠点に、週回利用者の声を聞く。

質問 六畳一間という母子寮の規程は改めるべきだ。

質問 訪問学級児童の父兄から集団教室設立の要望が出ている。区は、来年度教育相談所ではなく、このような施設を考へているか(共産)。

質問 訪問学級児童の父兄から集団教室設立の要望が出ている。区は、来年度教育相談所ではなく、このような施設を考へているか(共産)。

質問 訪問学級児童の父兄から集団教室設立の要望が出ている。区は、来年度教育相談所ではなく、このような施設を考へているか(共産)。

写真＝大会で発言する「自治権を広げる世田谷区民の会」会長大場信邦氏。



仕事のできる財源を!

「区長公選等実現記念二十三区民のつどい」



「区民のつどい」が、11月28日、世田谷区民会館で開かれた。会場には、各区の住民代表・区長・区議など千四百人が集まり、当区からも「自治権を広げる世田谷区民の会」会員など百八十人が参加した。

このつどいでは、まず区長公選実現までの経過が報告され、「自治権を広げる世田谷区民の会」の大場信邦会長ら、住民の参加代表が発言。また、都知事・国会議員などからもあいさつが行われた。

このあと、二十三区の財政権を確立する決議・陳情書を満場一致で決め、真の自治権拡充を目指す、という力強い大会宣言を承認した。決定した陳情書は、直ちに壇上で各党代表に直接手渡しして閉会した。



奥沢城の カヤの木物語

せたがやの民話と伝説

文・桜井正信
絵・阿伊染徳美

奥沢城の館に、色白で、玉のように美しい姫がおりました。
姫はまた、たいそうな文をついひ、和

歌や連歌も、ひときわふかく詠む、静かなおひとでした。
そんな姫のまに、ある日、一羽の白サギが、きずついたからだをやすめました。館のかたすみで、それも姫がたいそう大切にしていた一本のカヤの木に、やっとなつたのです。

姫は、やさしく白サギをいたさき、ぬり薬に、小キレと、てあつくいたわり、姫の御所でかんごしてやりました。
白サギの病はなおります。姫は、さっそく白サギに、もとの館主にもどるよういひかせ、奥沢城の館にあずかっていたことを、文にしたため、サギの足にむすんでやりました。

ところが白サギは、いくにちかたつと、ふたたび姫をさがすように、館のカヤの木にとまったのです。
白サギは、姫をみつけると、ひと

りて姫のふところにはいり、ねむりこけました。
その夜のことで、館のなかで、館主や姫をねらう悪者が、黒い影でまわっていました。そのとき、白サギの姿はふしぎとみえませんでした。
ところが、悪者の姿はどこかに消えて、ガヤガヤという、悪者をおうすくい人の声にかわりました。

白サギは、館のようすをそれとなくしつて、白サギの飼主である吉良の城にしらせ、飼主の城から、姫たちをたすけだすつわ者をよんで、むほん者をせいばつしたのでした。
白サギは、やさしい奥沢城のお姫さまに、おんがえしをしたのです。
それから白サギは、もとの飼主の吉良の城にもどらうとしないで、奥沢城でいちばん高いカヤの木にとまって、姫たちの身を、ねずにまもりつづけました。
いまも奥沢城と、その頃を語るカヤの巨木、しげっています。

意見書

要望書

二十三特別区の財政権確立に関する意見書
法改正で特別区の自治権拡充が大きく前進したが、財政権が確立しないのは遺憾だ。一般市なみの財政力を持ち首都圏としての特別需要を認めること。また、交付税も交付し、税率をアップする。さらに超過負担をなくし、地方債制度を改善、土地開発公社の規制廃止の法改正を強く要望する。
11月12日議決
内閣総理・自治大臣あて
二十三特別区の財政・人事・事務の拡充に関する意見書
特別区の一層の自治権拡充を強化するため、次項の実現を強く要請する。①事務移管協定の促進、②人事制度の確立、③自主財源率アップなど財源の充実、④人事定数基準の適正化、⑤財源獲得のため政府に法改正を要望すること。
11月12日議決
都知事あて
老人無料バスの利用範囲拡大に関する要望書
老人の民間バス利用が無料化されたが、電車を利用する機会も多い。この際、制度を拡充し、電車利用の無料化も実現するよう要望する。
11月5日提出 11月11日議会報告
都知事、東京急行・小田急・京王帝都各電

区立だったら一年保育にはいれると話聞いておりました。少し遅くても、一年はどうしても入れてやりたい。集団生活になれさせたい。
そんなときに野沢に区立幼稚園ができることを知り、早速、子供を連れて建設中の幼稚園を見に行きました。「ぼくの幼稚園ができた」、少し離れていますが、一年だか何とかが通えると思ひ、親子共に喜んで

鉄社長あて
合成洗剤 石油タンクに関する要望書
合成洗剤・石油タンクは、厚生省の「安全宣言」にもかかわらず、厚生省自ら注意を呼びかけている。科学的調査を急ぎ、企業にも厳しい措置をとるよう強く要望する。
11月5日提出 11月11日議会報告
厚生・農林大臣、環境庁長官あて
合成洗剤に関する要望書
合成洗剤の安全性をめぐって、十年間も論争している。企業はそしりを受けないよう、一日も早く疑いを晴らすべきだ。自ら製造禁止するような厳しい姿勢を要望する。
11月5日提出 11月11日議会報告
日本石鹼洗剤工業会会長あて
自動車排ガス規制完全実施に関する要望書 二件
光化学スモッグの多発地帯である当区にとって、自動車の排ガス規制は、緊急で重要問題だ。
区民の健康を守るため、「五十二年規制」完全実施に全力で取り組む努力を要望する。
11月5日提出 11月11日議会報告
通産・運輸大臣、環境庁長官あて
企業の社会的責任を認識し、「五十二年規制」完全実施に全力で取り組むよう要望する。
11月5日提出 11月11日議会報告
日本自動車工業会会長あて

区議会だより、または区政全般に対するご意見、ご要望をお寄せ下さい。なお、編集部で投票の内容を確認することはありません。
あて先
〒154 世田谷区世田谷四丁目21-27
世田谷区議会事務局

ました。定員八十名で一年保育だから、そんなに多くはないだろうと思っていました。
一・九倍：折る気持ちで抽選に行きました。くじ運の悪い私は、どうかはいれませんが、に最後まで折っていました。残念ながら補欠にもはいれませんでした。一年保育は区立しかない、期待が大きかっただけに大変ショックを受けました。その場で大声で泣き出したくなる思いでした。このままで一年生の中にとけ込むことができるでしょうか。先が思いやられます。私だけでなく、はいれないで泣いている親は、まだまだたくさんいるのではないのでしょうか。
私立幼稚園は、入園料、保育料ともに毎年高くなっていきます。多少の補助を出すより、矛盾したこの幼稚園不足を考え直してください。二年保育より、せめて一年保育だけでも、区立幼稚園に皆が義務教育のようにはいれることを切に願ひします。
下馬六丁目2-11 野村ミヨ子

心身障害者の民営バス及び電車利用無料化についての要望書
心身障害者にも民営バス利用無料化を行い、電車も無料で利用できるよう要望する。
11月30日提出 11月29日議会報告
都知事、都議会議員、日本民営鉄道協会会長、東京バス協会会長あて

議員の住所変更
高木正忠(民社) 経堂四丁目10-15 401

編集後記
○昨年の区の世論調査では、区民の六割が本紙を読んでいました。また、読まない人の理由では、「関心がない」三七%、「忙しくて読む暇がない」二〇%になっています。
○今年、区議会の長年の念願「区長選挙」が行われます。都からの事務移管という大事業もあり、少しでも多くのみなさんに読まれるおたよりを努力したいと思います。
○第一回定例会は、3月上旬に開かれます。昨年12月の臨時会を含め、次号でお知らせいたします。傍聴などのお問合せは、区議会事務局(412)一一一、内線五九〇〇五九八まで。

